

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度河道閉塞湛水部の監視手法高度化検討業務
2. 履行場所 九州技術事務所
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市博多区東比恵 1-2-12 R&Fセンタービル5階
会社名：日本工営株式会社 福岡支店
電話：092-475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、火山噴火等で発生した河道閉塞湛水部の監視手法高度化を目標に、迅速性・安全性の観点から UAV による運搬・投下が可能かつ、GNSS 等の最新技術が導入されている既存観測機器の現地実証および改良検討を行うものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備
- ・河道閉塞湛水部の湛水位監視用の現地実証対象ブイ選定
- ・河道閉塞湛水部の湛水位監視に向けたブイの現地実証試験
- ・河道閉塞湛水部の面的監視に向けた水上ドローン等の現地実証実験
- ・現地実証試験結果のとりまとめ
- ・報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 20 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 22 者が入手（ダウンロード）し、3 者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「河道閉塞湛水部の新たな監視手法を実現可能なものとするための実証試験の着眼点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「河道閉塞湛水部の新たな監視手法を実現可能なものとするための実証試験の着眼点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 火山防災減災課長